

6. カヤ (蜂巣のカヤ)



直径 91 cm



樹高 18 m

【解説】

現地は、西金砂神社の西側、「西金砂常緑広葉樹植物群落保護林」内にある。

この地は、中世には金砂城があり、常陸国を支配していた佐竹氏を源頼朝が攻め入った際に当地の絶壁に阻まれて苦戦したという場所である。

地質は男体山系の集塊岩で、急峻な地形の中に生育している。

カヤは、成長が遅い反面、寿命も長いことで知られる。森林調査簿でこの一帯の樹木は、このカヤも含めて130年生程度と記されている。これは便宜上の林齢ではあるが、それくらいの林齢は経っているだろう。

このカヤのほかには、同じ林内に70cm級のものが複数みられる。

【所在地】

常陸太田市上宮河内町字蜂巣国有林2082ぬ林小班内

北緯36°39'18" 東経140°26'59" 付近